

# 保健医療福祉行政論Ⅱ

選択・必修 開講年次：4 年次後期 科目区分：演習 単 位：1 単位 講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：国及び地方公共団体における保健医療福祉行政の現状、課題、各種施策の方向性について理解し、保健医療福祉行政における基本計画の策定、実施、評価についての基本的な知識とその展開方法を学ぶ。また、健康で文化的な生活、人々のQOLの向上を目指した保健医療福祉行政の各分野における看護職の役割と地域活動の発展について考察する。

■**到達目標**：①保健医療福祉行政の計画・実施・評価の方法について説明できる。  
②実習地域の住民の生活や健康状態を振り返り、地域の健康課題を構造化することができる。  
③実習地域で実施されている保健医療福祉施策や事業に対し、その充実と発展に向けて意見を述べることができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎近藤 圭子・清水 光子・櫻井 繭子・田仲 里江

■**授業計画・内容**：

- 第 1 回 地域保健行政Ⅱ
- 第 2 回 地方自治体における基本計画と保健医療福祉計画
- 第 3 回～7回 実習地域の健康課題の抽出と構造化
- 第 8 回～13回 実習地域の事業計画の策定・実施・評価
- 第14回・15回 プレゼンテーション・意見交換

■**教科書**：標準保健師講座別巻1 保健医療福祉行政論（医学書院）  
地域看護アセスメントガイド／佐伯和子他（医歯薬出版株式会社）  
保健師業務要覧 第3版／井伊久美子他（日本看護協会出版会）

■**参考文献**：最新保健学講座5 地域看護管理論（メヂカルフレンド社）  
最新保健学講座7 保健医療福祉行政論／野村陽子 編集（メヂカルフレンド社）  
これからの保健医療福祉行政論／星旦二 編集（日本看護協会出版会）

■**成績評価基準と方法**：レポート60%、小テスト（講義分）20%、授業態度、プレゼンテーション・意見交換20%

評価方法	到達目標		評価基準	評価割合 (%)
	目標①	目標②③		
レポート	◎	◎		60
小テスト(講義分)	○	◎	小テスト	20
授業態度 プレゼンテーション・ 意見交換	○	◎	授業、グループワークへの取組み プレゼンテーションの内容、意見交換	20
出席			2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：保健医療福祉行政論Ⅰ、公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護援助論Ⅰ・Ⅱ、ヘルスプロモーション活動論、公衆衛生看護学臨地実習Ⅰ・Ⅱ

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：看護師コース、保健師コースとも同じ履修内容です。公衆衛生看護学臨地実習を振り返り、健康課題解決のための事業計画の策定・実施・評価について学びます。